

## 地(知)の拠点 推進事業ニュース

富山国際大学 地(知)の拠点事業推進室  
 TEL076-483-8000(内線:2044)

### 商業研究クラブ 研究発表会に本学学生が特別発表として参加

12月14日(木) 富山県市町村会館において「平成29年度 富山県高等学校商業研究クラブ※1研究発表会」が開催され、今回は本学から「特別研究発表」として2ゼミの学生が参加しました。それぞれの取り組みや発表内容、参加メンバーの感想をご紹介します。(※1商業科設置9高校によって組織されています。)

#### 発表① 現代社会学部 長尾ゼミ

学生アイデアを生かして地域活性化を目指す「学生まちづくりコンペティション2017」で優秀事業として採択された、『“富山ラーメンアイス”の新製品開発による富山ラーメン王国の実現』について発表しました。発表したのは、板倉渚左さん、岩田知暉さん、中村拓海さんの3名。

長尾ゼミの3年生の学生10人(発表者3名の他、荒木進吾さん、亀澤裕太郎さん、佐竹優太さん、島林勇弥さん、竹内葵さん、田所歩さん、三浦佑悟さん)が、富山のご当地ラーメンの色にちなんだアイスクリームを企画し、助成金を受けて販売を実現しました。

#### 「富山市中心市街地にラーメン店が集中している」×「富山市1世帯当たりのアイスクリーム支出額全国1位」

という2つの点に着目し、富山のカラーラーメンの色をモチーフにした3種のアイス(赤(バニラ唐辛子味)・黒(ゴマ味)・緑(抹茶味))を考案。計450個を生産し、あいの風リレーマラソン、麺家いろは(cic内)、富山国際大学『紅嶺祭』で販売しました。



#### 発表会に参加した3人の感想

高校生の前でプレゼンテーションすることはとても緊張しましたが、会場にいる高校生のほとんどが真剣な表情で聞いてくれたので、嬉しく思いました。

商品の企画・立案、プロモーションの考案、協力して下さる企業との交渉からアイスの販売まですべて学生で行いました。事業の成功は同じゼミ仲間の強いチームワークがあったからだと思います。学生の時にしかできないとても貴重な体験になりました。



プレゼン風景

#### 「学生まちづくりコンペティション2017」には、現代社会学部 佐藤(綾)ゼミの企画『そうがわっぷ』も採択されています。

学生に総曲輪の良さが知られていないという地域課題に着目し、総曲輪の飲食店の魅力をまとめた情報マップ作製を企画。助成金を受けて実現しました。

総曲輪の魅力を学生が楽しむことを期待して、県内の大学や商業施設等で配布・設置するとともに、SNSでのつぶやき・写真投稿で、魅力・情報の発信を行いました。

■参加メンバー 打林綾音さん、西田遥香さん、畑はる佳さん、廣濱壮幸さん、藤井和馬さん、(3年生) 藤井舞さん、堀田優郎さん、矢沼一誠さん、吉田彩香さん



発表② 子ども育成学部 村上ゼミ

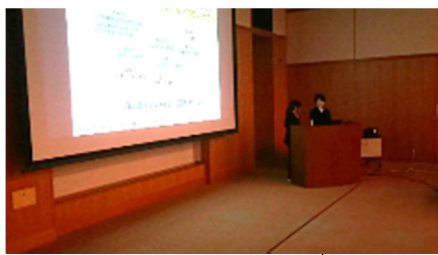
SSW・BBS研究会の山岡 真奈実さん、松田 育枝さん（ともに4年生）が、「平成29年度 大学コンソーシアム富山 学生による地域フィールドワーク研究助成※1」および「平成29年度 若者発！富山の社会福祉実践事業※2」に採択された研究、『子どもの食育・交流の場としての地域食堂構想』について発表しました。

この研究は、SSW・BBS研究会のメンバーが中心となり、貧困対策などを目的とした「子ども食堂」を開設・運営することを構想し、子ども食堂の現状や利用者のニーズの調査を行ったものです。

■研究のきっかけ 昨年7月に開いたイベント「子どもの貧困対策キャラバン in 富山」を通じて、富山市の子どもの現状を知ったことで、研究会でも貧困対策に取り組もうと考え、小中高生に無料または安価な料金で食事を提供する「子ども食堂」に焦点を当て、まずは現状を調べることにしました。

■調査研究・結果 7か所の子ども食堂の利用者・運営者にアンケート調査を実施し、その結果、食事だけでなく、食育や子育て相談、交流の場としてのニーズもあることが判明。また、自治体の調査結果を分析し、保護者が無料の学習支援や安心できる居場所などを求めていることも捉えることができました。

この結果をもとに、「自分たち学生ができること」として、5つの機能（①子どもの学習支援 ②献立の作成、食事の提供 ③子どもに対して遊びの提供 ④同伴者の交流 ⑤情報を定期的に発信する広報活動）を提言。富山短期大学の学生と協働し、学生が主体となる子ども食堂の開設を目指して、さらに研究を進めていきます。



プレゼン風景

参加者のコメント

学生が子どもたちに関わることで、親や先生といった「タテの関係」、子どもたち同士の「ヨコの関係」に加え、年の近いお兄さん・お姉さんという「十ナメの関係」を築き、話しやすさや居心地の良さを感じてもらえたらと、期待します。

※1 学生による地域課題の解決策の提言や課題解決のためのフィールドワーク研究を支援する取組み。地域と連携することで、コミュニケーション力や課題解決力の向上を図る。

※2 富山県の社会福祉に資する活動を支援することで、若者のパワーと知恵を活かした取組みによる、社会的課題の解決を目指す取組み。

今回発表した2つの取組みはそれぞれ北日本新聞に掲載されました！



地(知)の拠点推進事業(COC/COC+)とは

本学は、平成22年以降「大学生の就業力支援事業および支援推進プログラム」および「産業界のニーズに対応した教育改善・充実整備事業」に5年間に渡って連続して選定されました。その延長上で、平成27年度には、富山大学を申請校とする「地(知)の拠点大学における地方創生事業(COC+)」の「ALL富山COC+事業」に参加校として加わりると同時に、「とやま地域創生人材育成プログラム」によって、特に優れた取組として認められた大学等8校の一つとして、平成27年度「地(知)の拠点大学」(COC)の認定を受けました。